

2-6 運輸部門の施策

(1) 2010(平成22)年までの施策

①普及啓発やキャンペーン

ハイブリッド自動車、軽自動車の有利性、エコドライブの実施や自転車利用などに関する普及啓発、キャンペーンを進めることによって、エコカーへの買い換え、エコドライブや利用の削減を着実に進める必要があります。イベントの実施、普及啓発用のポスターや自動車に貼るステッカー等の配布、普及啓発を兼ねたアンケートの実施などのほか、下のコラムにあるような組織づくりも有効と考えられます。

アイドリングストップ機能を備えている自動車も車種は少ないながら販売されており、購入には国の補助金があります。

利用削減には、JR駅前など交通が集中する場所への車の乗り入れ制限も一定の効果があると思われます。

コラム：エコカークラブ

ディーラーとタイアップし、ハイブリッド車等のクリーンエネルギー自動車のオーナーや交通問題に関心のある人たちが集まる沙龙的な組織をつくり、エコドライブのノウハウなどの交換をしたり、市民に情報発信したりすることも考えられます。

取り組みとして、メーカー・車種別の実走行燃費情報提供、燃費コンテストや普及啓発イベントの実施等が考えられます。

②軽自動車買い換えに対する軽自動車税減免

小型自動車以上の車両からの軽自動車への買い換えに対しては、市税である軽自動車税を減免することも考えられます。小型車以上に課せられる自動車税は都税なので、これは都税→市税へのシフトであり、市税収入が増える効果もあります。

表18 軽自動車税

軽四輪乗用	乗用	7,200 円
	営業用	5,500 円
軽四輪貨物	乗用	4,000 円
	営業用	3,000 円

③効果的な交通システムやまちづくりの検討

乗用車が中心である福生市の運輸部門におけるCO₂削減に最も効果があるのは、なんといっても乗用車の利用削減です。そのためには通勤・通学・買い物・通院などの際に、自動車から他の交通機関、徒歩、自転車などに変更することが必要です。コミュニティバスの導入などで利便性を高めたり、トランジットモールなどにより中心部への自動車乗り入れを制限したりす